

佐賀県支部

『佐賀県のがんばる酒造メーカー』調査研究

第1章 全国における清酒の動向と佐賀県の酒について

日本の伝統産業である清酒メーカー（以下蔵元）について、業界全体と佐賀県の状況についてシンプルにまとめている。若者の清酒離れや焼酎ブームなど近年苦戦を強いられている清酒業界。その蔵元数の変遷や酒類全体における相対的な地位、さらには流通経路の変化などの詳細を記している。

また、佐賀県における清酒の歴史、状況、特徴や消費量の推移など、佐賀県の状況を一通り記載している。

第2章 佐賀県の酒造メーカー

佐賀県内の酒造メーカー（蔵元）は、現在 34 社ある。佐賀県の蔵元は、清酒を主として製造している。その中の 17 社に直接取材し、各蔵元の現状と今後の課題や展望についてインタビューしてきた内容をまとめている。各蔵元の考え方や特徴が、理解しやすいようになっている。

また、佐賀県の地酒の情報発信基地である地酒バー「MOM.」についても詳しく触れている。

第3章 佐賀県における酒造メーカーの実態と今後の展望

第2章では、蔵元ごとの現状と今後についての見解を述べた。第3章では、佐賀県の酒造メーカーの現状や取るべき方向性を示唆している。その共通キーワードは、①特定名称酒の強化、②独自の流通経路の開拓、③通年採用の社員や蔵元自身が杜氏、④日本酒に親しんでもらうイベントを開催、⑤世代交代、⑥海外展開である。各蔵元の努力は当然のことながら、佐賀県産の清酒ブランドの向上が必要であり、県産酒の需要を後押しするものである。また、海外展開について詳細に触れている。